



陽子の道政だより

52

2012年 新春号

発行 平出陽子後援会

発行責任者 上田 小八重

連絡先/函館市中島町2-8
北教組函館支部内
(☎33-5080)



謹賀新年



北斗市東前地区新幹線橋りょう工事



函館・道南の魅力に、

更に磨きをかけよう！

北海道新幹線札幌延伸をみすえて

北海道議会議員 平出陽子

新年明けましておめでとうございます。

去年のあの東日本大震災から考えると新年を寿ぐ気持ちにはなれませんが、新しい未来へ向って歩まなければなりませんので、決意を込めて新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は道南地方も、原発事故後対岸の大間原発に対し、「反対」「慎重」の意見が多くなってきました。子々孫々まで影響が出る事故ですから、他県の問題に口を挟まないと消極的であったこれまでの行政方針を変え、函館を中心とした各首長が建設慎重論を唱え出したことは一歩前進だと思えます。国はエネルギー政策の中長期計画と当面の短期計画を立案し、国民議論をすべきだと思っています。

もうひとつ道南の特筆すべき事は北海道新幹線札幌延伸問題です。三年後の(仮)新函館駅開業を控え北斗市・七飯町の工事は急ピッチで進められています。(上記の写真)北海道新幹線時代到来を実感できますが、札幌延伸決定は函館市を含む沿線自治体の在来線経営分離の合意でした。函館市長の政治的判断があったので国は札幌延伸を認可しましたが、市民の中には函館の発展を危惧している人々がいます。札幌開業は二〇三五年度だそうですので更に磨きをかけた魅力ある函館・道南にするために、私も皆様と共にがんばります。

訪れた人にとって、 住んでいる人にとって 魅力ある 街づくりとは

△平出さんは前頁で「更に磨きをかけた魅力ある函館に」と述べていましたが、魅力ある街とはどんな街だと考えますか。

△平出V私は二つの側面から考えるべきだと思います。

まず外から訪れた人が、すてきな街だと感じ、再度訪れてみたい街、知り合いの方達に紹介したい街。それが一つめの魅力ある街だと思います。

二つめはやはり住んでいる人々つまり市民が住んでいてよかつたと思える街。函館に是非住みたいと思える街だと思います。

△では、その二つの側面から魅力に更に磨きをかけるために、どうすると良いと思いますか。

△平出V函館は行ってみたい街に選ばれていますし、ミシユランの星付きの街ですから、観光の素材には事欠きません。新しく函館奉行所、縄文文化交流セ

ンターが開所されていますのでハード面は満点です。

しかし、更に磨きをかけるにはソフト面が重要です。

観光業界の方達だけでなく、市民みんなが観光大使の役割を担うことも大事です。自分なりの「観光ガイドコース」を作ってみるのも楽しいでしょう。

旅行会社のプランではないコースです。例えば小学生

なら遊び場・おもしろゲーム機設置のコース。障がい

がある人の場合なら、点字設置場、音声ガイド付き

コースなど。いずれの場合ももちろん函館駅が起点

です。特典は「函館観光ガイド」のホームページにアツ

プするのはどうでしょうか。

つまり、市民が自信を

持つて函館の街を宣伝しな

ければ魅力は伝わりません。

観光は経済状況や災害で

大きなリスクが生じます。

観光だけで函館が生きるの

この連携が良いでしょう。最近ではがごめ昆布商品の開発が良い例でしょう。企業との連携が必須です。

△有機農業で街づくりをしていく地域を調査してきたそうですね。

△平出V所属している農政委員会の道外調査で宮崎県綾町の自然生態系農業と有機農産物販売

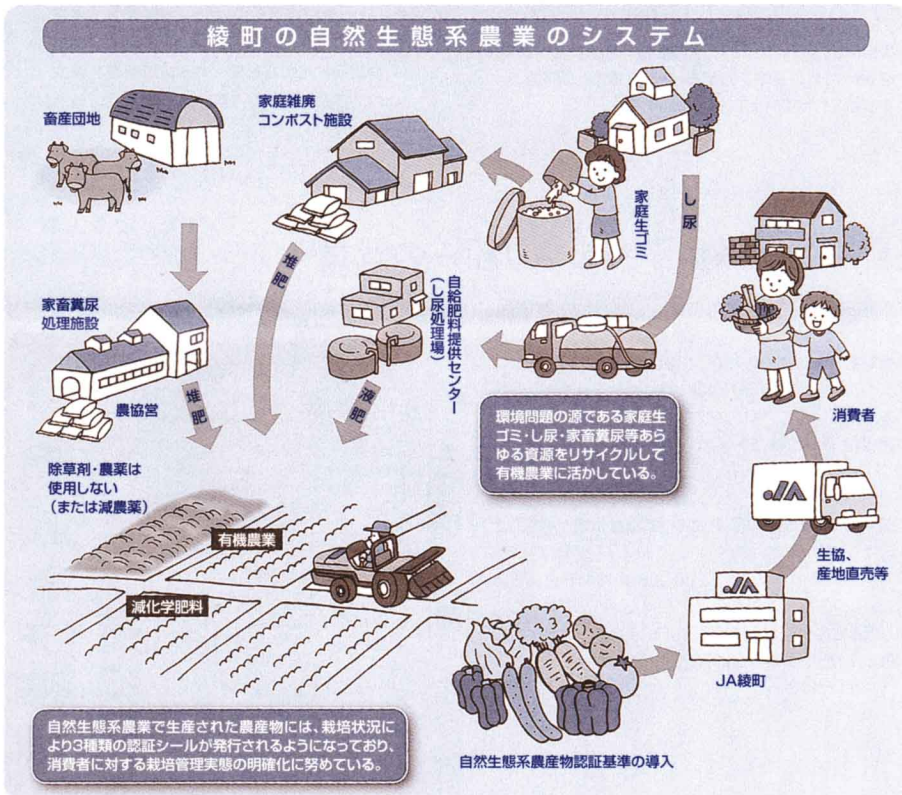
センターを視察してきました。

綾町は一九八八年に全国初の「自然生態系農業の推進に関する条例」を制定し左図のようにシステム化したそうです。人口

六千人位の町ですが、近郊から有機農産物を求めて多くの人々

が訪れたり、外食産業にも出荷しています。

一九七三年の一坪菜園の普及



自然生態系農業で生産された農産物には、栽培状況により3種類の認証シールが発行されるようになっており、消費者に対する栽培管理実態の明確化に努めている。

自然生態系農産物認証基準の導入



共生型賃貸住宅「SUMOCCA」(柳町)

と家庭菜園コンクールから始まった街おこしが、一大産業となったそうです。このことが訪れる人にとっても住んでいる人にとっても、魅力ある街づくりになるのだと思います。

△函館の住民の皆さんが住んでいて良かったと思える魅力ある街づくりとは、どう考えますか。

△平出V私は何と言っても福祉と教育の街づくりだと思います。残念ながら、若い人は北斗市や七飯町に多く住みます。それは税や福祉・教育サービスが函館より良いことも一因だと思います。函館は福祉分野では先進地ですが、行政がそれに追いついてません。行政と民間・市民の共働作業の認識が必要です。

NPO法人に ひとり3000円の 寄付を!

(学校法人・福祉法人にも該当)



障がい者支援ふらっとほーむ (中島町)

〓今年の四月から税法が改正されNPO法人にも優遇措置がなされるようになりますね。

△平出V NPO法人の皆さんからの強い要望で国も重い腰をあげました。これまで以上に活動を支援して下さる個人・企業を増やすためにも、寄付しやすい優遇措置を考えたのです。地元逢坂代議士にも尽力いただきました。

三千円以上寄付した方が百人

以上いるNPO法人を認定法人として、そこに寄付した個人・企業には税控除があるという法改正です。

〓三万円ずつ十人からの寄付では認められないのですか。

△平出V多くの方から認知されている法人という意味ですからやはり「三千円の寄付で百人」が基準になります。

〓函館にはたくさんNPO法人がありますが、どんなNPO法人があるのかを市民が知るためにはPR不足ですね。

△平出V十字街にある街づくりセンターがまとめており、年一回NPOまつりを開催し市民の皆さんにPRしていますが、身近な人がNPO法人に関わっていないければ一般市民の方は存在すら知りませんよね。これまでに以上に広報活動が必要ですね。

〓既にNPO法人登録しているが前述の要件に満たない場合は。

△平出V見なし規定もありますので確認した方がよいです。道や市で条例を制定すると新たに優遇措置が付加されます。

上記写真の団体のように、これからNPO法人化をめざしている所もあり、応援したいです。

私が昨年の知事選で推した候補は女性政策のひとつに「性暴力被害支援ワンストップセンターの設置」を掲げました。残念ながら候補は当選致しませんでした。現職知事に設置を求めています。難航しています。

性暴力被害支援ワンストップセンター 設置のため動いています

国の第三次男女共同参画基本計画にも性暴力被害支援は盛り込まれていますが、該当する基本法がないために系統だつた支援ができないです。そこで道議会超党派議員、もと、相談電話の設置と支援員の育成を新年度予算に求めています。

相談電話が開設(札幌)されると全道各地からの相談が予想されます。そうすると支援員は全道各地に必要となります。全道の仲間と連携し尽力中です。

ワンストップセンター設置を求めます。難航しているのは、協力がなかなかみつからないことです。そこで可能なのでからで

△第3回定例会で採択された決議・意見書▽

- 再生可能エネルギーの推進に関する決議
- 石川知裕衆議院議員の議員辞職を求める決議
- TPP交渉への参加を行わないよう求める意見書
- 原子力損害の賠償に関する意見書
- 我が国の領土に係る外交に関する意見書
- 北海道新幹線の建設促進を求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
- 受診時定額負担の導入に反対する意見書
- 北海道農業の発展に必要な生産基盤整備に関する意見書
- 北方領土問題の解決促進等に関する意見書
- 根室海峡におけるロシア連邦トロール船に関する意見書

△第4回定例会で採択された意見書▽

- 原子力発電所の安全対策に関する意見書
- 再生可能エネルギー等の導入促進を求める意見書
- 子ども・子育て新システムによる保育制度改革に関する意見書
- 私立専修学校に関する新学校種の創出と財源措置に関する意見書
- 鳥獣被害防止対策の充実・強化に関する意見書
- 国立大雪青少年交流の家及び国立日高青少年自然の家の存続を求める意見書

で見る
陽子の
道政日記

農政委員会道外調査



▲ (宮崎県綾町役場)

◀ (綾町手づくりほんものセンター)



▲ アンニョンフェスタ in 函館



▲ ♀女性会議函館50周年記念交流会



▲ 合同教研女子教育問題分科会 (北見市)



▲ 民主党北海道女性議員等連絡会議総会 (札幌市)



▶ TPPから日本の食と暮らし
いのちを守る国民集会
(東京都 両国国技館)



▲ 道南 I II III 会創立30周年記念式典



▶ 函館中央ライオンズクラブ
ファミリークリスマス会

あとながき

年頭にあたり、後援会の皆さまはもちろん、ご家族の皆さまに新年のお慶びを申し上げます。未曾有の大震災から約10ヶ月。なお消えることのない悲しみや不安を抱えてもおもたたくましく生きる被災地の方々にこちらが勇気つけられます。さらに復興・安全対策について国に働きかける必要性を感じます。

函館も震災から立ち直り、街では多くの観光客を見かけるようになりました。しかし、年明け早々職業安定所に列をなす失業者の方々の目の当たりにし、雇用問題への対応をはじめとした経済再生、新幹線に関わる在来線問題、大間原発建設問題など、課題が山積です。

こんな状況だからこそ、「これまで」と「これから」をしっかりと直視し、「生きがい」を感じ、「安心して暮らせる」社会の実現に向けて、国・道・市に私たちの思いを発信していく一年にしたいと思います。よろしくお願いたします。

▶ 第二次世界大戦函館空襲
戦災跡地戦災者慰霊碑建立
(函館実行寺)

